

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2016年5月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障を充実させ、平和でみんながしあわせになる社会を

北海道社保協総会開く 深刻な実態やたたかいを交流



5月28日、第23回北海道社保協定期総会が札幌市内で行われ、道内の地域社保協や労働組合、団体などから52人が参加しました。

総会では、1年間の活動をまとめ、今後の方針、役員体制を確認しあいました。

各分野から、安倍政権の下、社会保障が改悪され格差と貧困が広がる一方、当事者を先頭に共同した取り組みが広がっていることなどが報告されました。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| ①札幌市の国保料引き下げ運動 (札幌社保協) | ⑧最賃・生計費調査や介護分野の取り組み (道労連) |
| ②手稲区社保協の誕生の経過 (手稲区社保協) | ⑨TPP反対の取り組み (農協労組) |
| ③年金裁判について (年金者組合) | ⑩中小業者の健康状態 (北商連) |
| ④新・人間裁判について (道生連) | ⑪この間の保育人材確保の取り組み (福祉保育労) |
| ⑤子ども子育て支援新制度が実施されて1年 (保育連) | ⑫介護制度をよくする取り組み (勤医労) |
| ⑥子ども医療費の拡充の運動と選挙カフェ (新婦人) | ⑬ふれあいパス利用制限反対の取り組み (小樽社保協) |
| ⑦係争事案30件、看護師過労死事件 (いの健センター) | ⑭生活保護の資産調査について (道生連) |

安倍政権は、参議院選挙後に2018年に向けてさらに社会保障を大改悪しようとしています。また、今年は、北海道の地域医療構想が作成され、医療費適正化計画、地域医療計画や高齢者保健福祉・介護保険計画、国保の都道府県単位化の検討が始まります。今年の活動の4つの重点、当面、参議院選挙で、社会保障も大きな争点に押し上げていく取り組みを確認しあいました。

《2016年度・活動の重点》 ①25条をはじめ憲法をくらしに活かし「憲法改悪・消費税増税・TPP参加」に反対し、関係諸団体と共同して社会保障改悪に反対し、国の責任による社会保障の拡充をめざします。 ②医療費適正化、国保都道府県単位化政策など、市町村の裁量を奪う攻撃が強まる中、市町村といっしょに誰もがくらし続けられる自治体地域づくりをめざします。 ③生活保護パッシングの嵐を打ち破り、孤立死や貧困をなくす取り組みをすすめます。 ④当事者のたたかいに連帯し、共同の取り組みをひろげ社保協の組織強化をめざします。

記念講演は「さっぽろの子ども・青年は今」 柳 憲一さん・「白書」編集局長

総会では記念講演も行われ、『さっぽろの子ども・若者白書2016』の編集局長の柳さんが、子どもや若者に関わる深刻な実態とその問題に取り組むスクールソーシャルワーカーなどの活動、引きこもり経験者や高校生などの声を紹介しました。「札幌」という大都会で、一人ひとりの市民（子ども・若者・大人）の権利を保障させるための共同した取り組みをひろげる必要性も強調しました。

今年の社会保障学校は苫小牧

10月10日（月・休）9時30分～
苫小牧市民会館

記念講演は 藤田 孝典氏
NPO法人ほっとプラス代表理事
『下流老人』『貧困世代』の著者

社会保障を選挙の争点に 6・15大宣伝行動

日時 6月15日（水） 12時15分～45分
場所 JR札幌駅南口広場

たくさんで参加で成功させましょう。

